



TITLE:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第5号)

AUTHOR(S):

CITATION:

編集後記 (泌尿器科紀要 第13巻第5号). 泌尿器科紀要 1967, 13(5): 434-434

ISSUE DATE:

1967-05

URL:

<http://hdl.handle.net/2433/113137>

RIGHT:

編 集 後 記

野も山も緑一色，すがすがしい五月晴れのあざやかさは何処も同じであるが，古都のさわやかさも葵祭を中心として，また格別である．東山から比叡山にかけ新緑の美しさについて没入して行くような幻想さえも覚えるこの頃である．

さて，今月号の随想をお願いしたのは昭和初期の名著泌尿器科学提要の著者 中川小四郎先生で，その格調高い日本泌尿器科の黎明の歴史をまず御覧願いたい．原著の方では定延氏の精囊腺に関するホルモン研究，吉田氏の3編にわたる尿路感染症についての研究を始め，筆者の目にはどれもこれも優秀論文と思われる．5月の美しさの裡にみる木々の新鮮さのようなこれら論文中，万緑叢中紅一点があるやなしやは読者の皆さんの判定に俟ちたい．（昭和42年5月）

購 読 要 項

1. 発行は毎月（年12回）とし，年間購読者を以て会員とする．
2. 会員は年間予約購読料金 1,500円を前納する．1冊料金 150円．払込みは振替口座番号 京都4772番 泌尿器科紀要編集部，或は第一銀行百万遍支店宛．
3. 入会申込みは氏名（フリガナ），住所（雑誌郵送先），勤務先，職地位，自宅開業の別，送金方法を御記入の上編集部宛．

投 稿 内 規

1. 原稿の種類は綜説，原著，臨床報告，その他．寄稿者は会員に限る．
2. 原稿の長さは制限しないが簡潔にする．
3. 原稿は横書き，当用難字，平仮名，新仮名使いを用い，片仮名には括弧を要しない．400字詰原稿用紙を用いること．附表，附図はなるべく欧文にすること．
4. 文献の書式は次の如くする．著者名：誌名，巻数：頁数，年次．
例．1）中野：泌尿紀要，1：110，昭30． 2）Lazarus, J. A. : J. Urol., 45 : 527, 1941.
5. 欧文抄録を記し，之には欧文の標題，所属機関名，ローマ字著者名を付け，なるべくタイプライターを用いること．希望の場合は当編集部にて翻訳す法．抄録用の原稿を送ること．翻訳の実費は申受ける．
6. 掲載料の著者負担は4頁迄毎頁 600円，それ以上の頁，アート頁，図表，写真，欧文組版等は実費を申受ける．別冊20部を無料贈呈，それ以上は実費を徴収する．予め希望部数を申込むこと．特別掲載も考慮する．
7. 校正は初校のみ著者校正とし，再校以降は編集部が行う．
8. 原稿送り先は京都市左京区聖護院 京都大学病院 泌尿器科紀要編集部宛，書留便．

泌尿器科紀要 第13巻 第5号

定価150円

昭和42年5月25日 印刷

昭和42年5月31日 発行

顧 問	稲 田 務
編集発行人	加 藤 篤 二
発 行 所	泌尿器科紀要編集部
	京都市左京区 聖護院 川原町 53
	京都大学医学部泌尿器科学教室
	電 話 ㊦ 8111 学 内 5806
印 刷 所	山代印刷株式会社
	京都市上京区寺之内通小川西入